

松江市、鳥取市、米子市視察報告書

会派「結ゆう SHIROI」

日 時 : 平成26年5月13日～15日
視 察 先 : 鳥根県松江市、鳥取県鳥取市、鳥取県米子市
視察目的 : 鳥根県松江市 運動場芝生化事業について
鳥取県鳥取市 100円循環バス「くる梨」について
鳥取県米子市 米子方式学校図書館支援サービスについて

1、松江市 屋外運動場芝生化事業

5月13日は松江市の屋外運動場芝生化事業について視察しました。

松江市では、子どもたちの体力向上、緑化意識の普及・高揚、新たな地域連携のきっかけづくりのため、屋外運動場の芝生化事業を実施しています。

平成20年度から屋外運動場芝生化モデル事業をスタートし、5校のモデル校を指定して、平成20年度3校・平成21年度2校で実施し、このモデル事業を検証した結果、事業目的の一つである地域コミュニティの醸成が十分図れるものと判断し、屋外運動場芝生化事業を、市内全小学校に広げて実施することとし、現在全35校中22校で実施しています。



芝生化でのびのびと

事業計画

屋外運動場の芝生化は1校につき2ヵ年で実施し、事業内容は次のとおりです。

1年目 設備整備

- (1) 屋外運動場に灌水設備を整備
貯水タンク・送水ポンプ・スプリンクラー等
- (2) 備品収納用倉庫を建設

2年目 植栽・維持管理

- (1) 定植
- (2) 備品を購入
(乗用芝刈り機、肥料散布機等)
- (3) その後の維持管理



地域で芝張り

目 的

子どもたちの体力の向上や、地球温暖化対策のため緑化意識の普及や高揚を図るとともに、地域コミュニティの醸成や、新たな地域連携の促進を目的に事業を実施しています。

効 果

- ・安全にのびのびと思いつき運動したり、遊んだりすることができ、体力向上が図れる。
- ・屋外運動場の使用時に転倒等があった場合にも受傷の予防・抑制が図れる

- ・子供たちが芝育成の過程を間近で観察でき、学習活動の一助になる。
- ・子供たちが自分で作業を行なうため、ものを大切にする意識を育てる。
- ・夏季の屋外運動場の温度上昇を抑制することができ、地球温暖化防止の効果が期待できるとともに、環境教育の教材としても活用できる。
- ・植栽作業、維持管理作業を学校・P T A・自治会、各種地域団体の協働により実施するため、芝生化のイニシャルコスト、ランニングコストの低減が図れる。
- ・更なるコミュニティの活性化が図れる。
- ・屋外運動場の砂塵飛散防止効果があるため、近隣住民の住環境の向上が図れる。
- ・排水状況の改善が図れ、屋外運動場用土砂の流失防止が図れる。

概 要

市内公立小学校の屋外運動場に育苗ポットで育てた西洋芝を 50cm 間隔で植え付ける方式により芝生化を図る。

特 徴

この「屋外運動場芝生化事業」は、灌水設備等の設備整備は行政で行い、定植から日常管理、更には芝生化された屋外運動場の利用方法やこれを活用した地域の一体感の創出や地域連携のきっかけ作りを学校と地域とが協働で行なっています。

このように、本事業は「松江方式」とも言える体制で実施しており、事業目的でもある「地域コミュニティの醸成や新たな地域連携の促進」を図れることが、大きな特徴の一つとなっています。



担当課職員から説明を受けた後、平成 22 年に実施済みの竹矢小学校の状況を視察しました。

以上のことから、学校運動場芝生化は大変メリットがあり、白井市においても再度、運動場芝生化について検討してはと思いました。

2、鳥取市 100 円循環バス「くる梨」

2 日目は鳥取市のコミュニティ型循環バス「くる梨（くるり）」の取り組みについて視察しました。緑コース・青コース・赤コースの 3 ルートがあり、34 人の乗りのバス 6 台で運行しています。運行時間は午前 8 時から午後 6 時までで、1 週約 33 分のコースを 20 分間隔で運行しています。運賃はどこで乗り降りしても大人・子供は 100 円、障害のある人とその介護者は 50 円、未就学児と子育て支援カードを提示された方は無料となっています。



青コース「くる梨」

2002（平成14）年10月1日より実験運行を開始し、その後ルート見直しや新車導入を経て、2004（平成16）年1月3日より本格運行を開始しました。

「くる梨」の運行は、日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社との2社が、鳥取市から委託を受けて行っています。



一日乗車券

大人・子ども 300 円、障害のある人とその介護者 150 円
乗車券はスクラッチ式で、好きな日に何回でも乗車できます。

1ヶ月定期券 全線乗り放題で3,000 円

回数券 100 円回数券 1,000 円〔11 枚綴り〕
50 円回数券 500 円〔11 枚綴り〕

電子マネー

「WAON」「クイックペイ」「iD」「E d y」の電子マネーが利用でき、1 か月約 240 人、全体の約 1%が利用しています。

導入経費は1台当たり約70万円（国の補助1/3）で全車両に導入しており、決済手数料は約2%とのことです。

「くる梨」のネーミングや車体のデザインは公募で決めたということで、車両の購入財源は

- ・社会資本整備総合交付金 55%補助
- ・地域活性化・生活対策臨時交付金 70%補助
- ・宝くじ交付金 100%補助

を活用しているとのことです。

また、「くる梨」は路線バスやデマンドタクシーなどとも連携して運行しています。

白井市における今後の「ナッシー号」の有り方に大変参考になりました。



3、米子市 米子方式学校図書館支援サービス

3 日目は米子市の市立図書館による学校図書館支援サービス事業について視察をしました。

米子市では、平成9年度から4年計画で学校図書館専任職員の全校配置が始まり、平成12年度で市立の小・中・養護学校(全34校)への配置が完了しました。

1. 学校図書館への貸出

- ・リクエストによる資料貸出
通常の団体貸出(50冊)の枠にとらわれず、特に冊数制限は設けず可能な限り貸出をします。
- ・朝の読書など学級文庫用図書 of 長期貸出(小学校)
1箱40冊単位で、児童数を上限に学期毎又は1年間貸出をします。

2. レファレンスへの対応

問合せを様式化し、FAX または Eメールで受付けます。
年間の主なレファレンスをまとめています。



3. 学校図書館研修会

教育委員会学校教育課主催で市立図書館を会場に実施

- ・図書職員研修(年7回/17年度実績)
- ・司書教諭との合同研修(年2回)

4. 物流システムの確立

図書館から学校へ貸出す本は、専用の袋に入れ、市の公用車が火曜から金曜の毎日学校へ配本をしています。
長期貸出しの本は、折り畳み式コンテナで配本します。

5. 学校図書館のデータベース化(平成13年度より3ヵ年計画)

平成13~15年度で全校のデータ入力完了し学校間の資料検索が可能になりました。
平成15年11月、学校間の物流が整備され学校間相互貸借を開始しました。
平成16年1月、教育委員会・市立図書館を含む学校間のメーリングリストが完成し、リクエストや情報交換に活躍しています。

リクエスト貸出の積み込みの様子

学校からのリクエストにより、図書館から送り出す本は専用メール袋に入れ、市の公用車で毎日配本します。



通常のリクエスト貸出し



通常の積み込み

長期貸出のセット組みの様子

“朝の読書”のための学級文庫用の本は、読み物の低・中・高と絵本にわけ、1箱40冊単位で、各学校の希望内訳に応じてセットします。



学期ごとの長期貸出、コンテナにセット



トラックに積み込み、かなり重い

また、米子市立図書館では、ビジネス支援コーナーの設置や健康情報コーナー、法律情報コーナー、ヤングアダルトコーナーなど分かりやすく分類しており、スペースもゆったり

としてありました。さらに、ICタグの導入により、盗難防止とともに、自動貸し出し機設置など先進的な取り組みも行っており、大変参考になりました。

○視察参加者 幸正純治、中村繁太郎、岩田典之、鳥飼博志

以上

※ 政務活動費に当てた費用 :59,270円

		備 考	
交通費	電車賃	440	西白井駅⇒千葉ニュータウン中央駅
〃	〃	1,430	羽田空港駅⇒西白井駅
〃	航空運賃(SKY 先得割引)	9,900	成田空港⇒米子空港
〃	航空運賃(ANA 先得割引)	14,190	米子空港⇒羽田空港
宿泊費	5月13日	10,600	国民宿舎 水明荘
〃	5月14日	9,900	三朝ロイヤルホテル
小計(A)		46,460	
交通費	タクシー代	10,270	千葉 NT 中央⇒成田空港(地震により電車停止)
〃	レンタカー代	32,655	トヨタレンタリース(燃料代含む)
〃	高速料金	670	松江玉造⇒米子東
その他	視察先手土産	7,647	たちばな園
小計(B)		51,242	÷ 4=12,810
合計(A+B)		59,270	